

新宮山彦ぐるーぷ第2169回

21世紀の森↓東屋岳までの巡視・整備(春季巡視3回目)

◇実施日 3月20日(日) 晴、強風

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、畑林清子、大江徳子、生熊千満子  
中前偉、西克、岩本信行、梶野照雄、志岐敬、越野智子  
ブランドン・リムステッド(十津川村地域おこし協力隊、  
21世紀の森勤務、下葛川在住)

12名



登山口をスタート



古屋の辻



塔ノ谷峠

今回の巡視は交差登山を前提に準備を進めたが、参加者が三方向からで、公共交通機関の利用者もあって、集合時間を午前9時30分とした。そのため21世紀の森から東屋岳を経て国道425号に

降りる一方通行とした。集合時間を一時間ほど遅くしたので、新宮・熊野組で下山口に車をデポすることが可能になり、全員で同方向へ歩くことが出来ることになった。



貝吹之野で勤行



標識整備



香精山手前で昼食

午前9時半少し前に21世紀の森入り口前に集合、今回初めて参加されたブランドン・リムステッド君(アメリカオハイオ州出身、33歳)は、十津川村地域おこし協力隊、21世紀の森の空中の村で勤務、十津川村や熊野の活性化のため努力されている。下葛川地区に居住し、奥さんは日本人で日本語も堪能だ。

岩本さん等4人は先行して歩いて登り、残りの8名は2台の車で世界遺産の石柱が有る登山口まで登った。9時半過ぎに登り始める。事前に山彦の先輩の坪井幸生氏(故人)の資料を調べると、21世紀の森から東屋岳までは3時間15分、標高差は530mとの記録があった。



この記録からすると、ゆっくり昼食を摂って東屋岳からの下り60分を足しても、午後3時頃に国道425号に降りることが出来ると考えていた。

記録には「塔ノ谷峠まで42分」とあったが、実際は1時間近くを要し、すでに15分ほどオーバーした。この先が思いやられる。貝吹之野への急登の途中で、今日行仙宿に泊まるという奈良の女性3人組が追いついてきた。

貝吹之野の巨岩下にある石碑前で中前君導師で本日の作業山行安全とコロナ早期終息、併せて奈良女性3人組の今日、明日の山行無事を祈願して勤行を行う。



香精山

本日の参加者

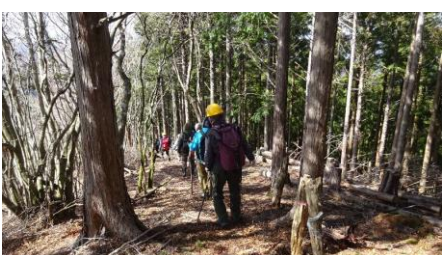
昨年整備した菊ヶ池

塔ノ谷峠を挟んでは急登の連続で、喘ぎながら登り続けやつと貝吹之野上野ピークまでやってきた。ヤレヤレこれで大きな登りも終わったか、と思ったが、この先も香精山、拝返し、東屋岳と目の前に聳え立つもぼりが続き、簡単には進ませてもらえない。後期高齢者

の年齢が近づいてきて、体力の衰えを感じてしまう。

香精山手前の鞍部でちょうど12時となり、風を避けて昼食を摂る。ここ迄は梶野君のチェーンソーの出番は無く、登山道にも異常は見られない。2年位前に順峯者が香精山手前で道を失い、電話でクレームがあったが、どうして道を失うのか理解に苦しむ。奥駈道は踏み跡もはっきりしていて、迷い込むような湧き道も見当たらない。

香精山を過ぎた送電鉄塔付近で笠捨山をバックに集合写真を撮り、拝返し、菊ヶ池を経て四阿宿に到着、午後1時半過ぎだった。四阿宿で90度近く方向を変える奥駈道に立てられた青木君製作・設置の標識が割れていた。児嶋さんはこの標識と玉岡さん作成の山頂標識の二つを手義やよく修理、ここまでの奥駈道にまったく異常は無かった。



標識整備

国道へ下る

下山

東屋岳で少し休憩して国道425号へ下る。ここ数年は車の回送

に回ることが続いていたので、この下りルートを歩くのは久しぶりだ。我々も年に2回は利用するし、一般登山者からも時々問合せが有るので、ルートの明確さが気になっていた。テープやスプレーを準備して、要所々に印を付けた。近年間伐が行われたようで、あちこちに切り倒された木が放置されている。切り株の上に石を並べてミニケルンを作った。間伐があつたためか以前より踏み跡もはっきりしており、ルートが判りやすくなったようだ。

午後3時少し前に国道に降り立った。予定通りの時間に下山することが出来た。事故、トラブルも無く下山した。ヤレヤレだ。デポしていた車2台で21世紀の森戻り、登山口に残した車を取りに行く。

車を回収して全員が揃う。来月からの巡視予定などを説明して解散した。遠路参加くださった越野さん、早朝5時20分の始発に乗り参加の志岐さんにお礼申し上げます。  
(記：沖崎)

## 行動タイム

09：30 21世紀の森→09：36 登山口→09：51 古屋の辻→10：52 塔ノ谷峠→11：56 香精山南鞍部 12：15→12：37 香精山→13：14 押返し→13：17 菊ヶ池→13：25 四阿宿→13：37 東屋岳 13：52→14：55 国道425号→15：22 21世紀の森